

令和5年度施行 特別区職員 Ⅲ類採用試験【No.14】解説

1～13のカードがA～Cに配られた様子を記入するための“枠”を準備し、ア～ウの条件を書き込むと次表のようになる。

与えられた条件						
A						3枚が連続, 合計 29
B	12					合計 38
C	11					合計 24

Aの条件を具体的に書き出してみると, (2, 8, 9, 10), (5, 7, 8, 9) の2通り(次のIとII)しかない。

(I)	A	2	8	9	10	3枚が連続, 合計 29
	B	12				合計 38
	C	11				合計 24
(II)	A	5	7	8	9	3枚が連続, 合計 29
	B	12				合計 38
	C	11				合計 24

連続する3つの整数の和が3の倍数になることを知っていれば, 3枚で27と2, 3枚で24と5, ... と見つけていけば簡単な?

ここでCの条件を考えると, 残り3枚の合計が13なので, (I)と(II)どちらの場合も「13」は使えない。したがって「13」はBが持っていなければならない。この時点で**正解は「2」**とわかる。

..... このあとは不要だが, もう少し続けてみよう。

(I)の場合, 残っているのは(1, 3, 4, 5, 6, 7)の6枚。BもCも残り3枚の合計が13なので, (1, 5, 7)と(3, 4, 6)の2組に分けられるが, どちらがBかCかは決まらない。

(I)	A	2	8	9	10	3枚が連続, 合計 29	
	B	12	13	1	5	7	合計 38
	C	11	3	4	6		合計 24

↑ ↑ ↑
入れ替えあり

(II)の場合, 残っているのは(1, 2, 3, 4, 6, 10)の6枚。BもCも残り3枚の合計が13なので, (1, 2, 10)と(3, 4, 6)の2組に分けられるが, どちらがBかCかは決まらない。

(II)	A	2	8	9	10	3枚が連続, 合計 29	
	B	12	13	1	2	10	合計 38
	C	11	3	4	6		合計 24

↑ ↑ ↑
入れ替えあり